



AppCheck Pro

誤検知対応マニュアル

株式会社 JSecurity

第3版	2025/1/10
-----	-----------

目 次

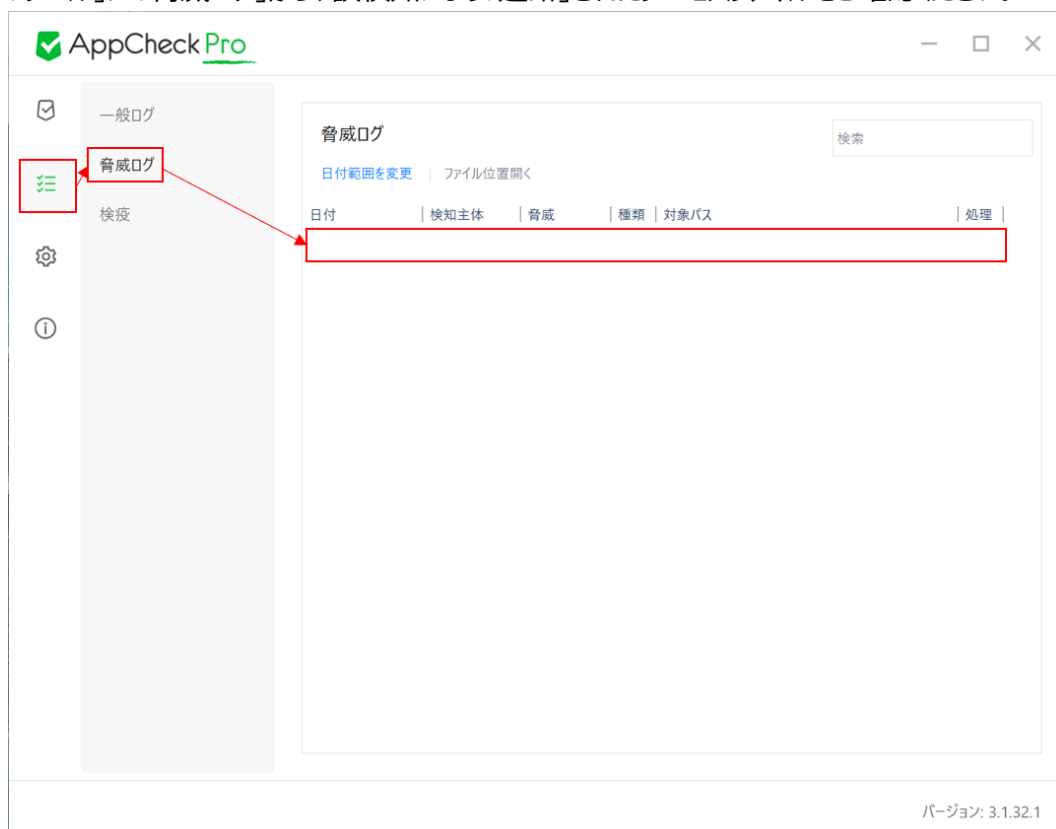
1. 【CMS有】誤検知対応方法	3
2. 【CMS無】誤検知対応方法	9

1. 【CMS有】誤検知対応方法

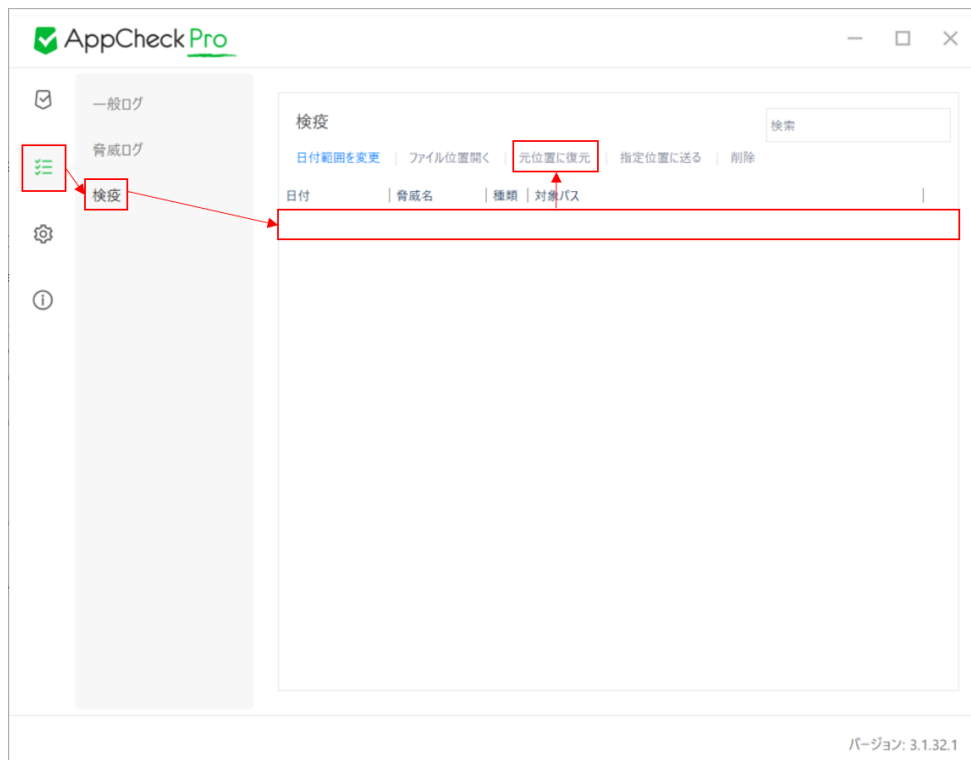
(1) Windows右下のAppCheckのアイコンをダブルクリックし、AppCheckProを開いてください。



(2) 「ツール」>「脅威ログ」から、誤検知により「遮断」されたプロセスファイルをご確認ください。



- (3) 「ツール」>「検疫」から、誤検知により削除されたプロセスファイルとデータファイルを選択し、「元位置に復元」で復元してください。



- (4) 以下のURLにアクセスし、CMSにログインします。

<https://jp.cms.checkmal.com>



※CMS Cloudから例外設定に関しては、「誤検知が発生したエージェントのみ適用」と「ポリシー単位の設定による一括適用」の二つの方法がございます。もし、誤検知が発生している特定エージェントのみ例外設定を適用する場合は(5)~(9)の手順を実施頂き、AppCheckによる誤検知が行われる同様な動作を複数エージェントで行われており、ポリシー単位の設定による一括適用にて誤検知発生を完全に防ぎたい場合は(10)~(12)の手順を行ってください。

- (5) 【該当エージェントのみ例外設定を行う場合】「該当エージェント」>「ツール」>「ログビュー」ボタンをクリックします。



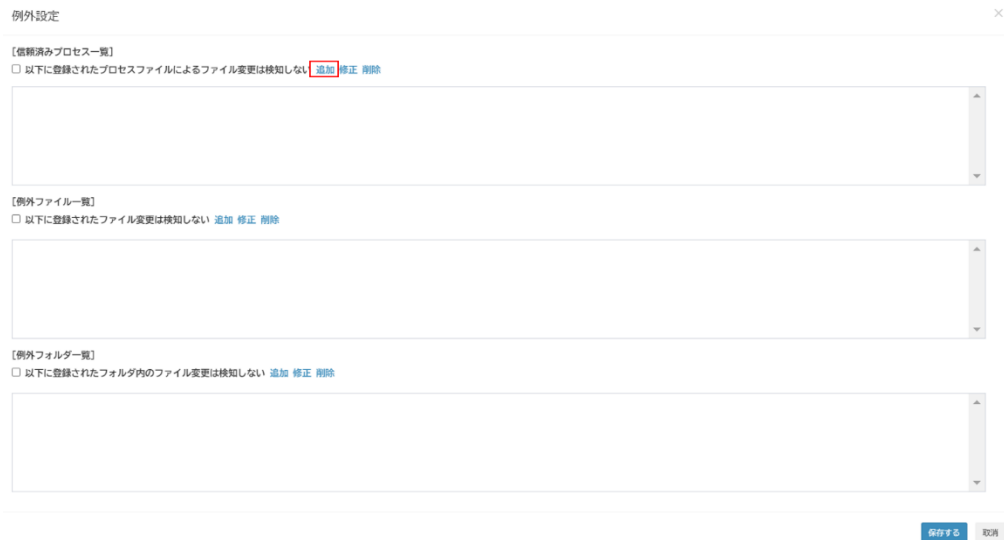
- (6) 「脅威ログ」から「ランサムウェアアクション検知」として誤検知、遮断されているプロセスを確認してください。



- (7) 「ポリシー管理」>「例外設定」から、誤検知が発生したエージェントの「ツール」ボタンをクリックしてください。



(8) 「信頼済みプロセスリスト」>「追加」をクリックし、(3)で確認した誤検知プロセスを**ファイルのパスまで含めた形**として入力し、「OK」を押してください。



例外設定

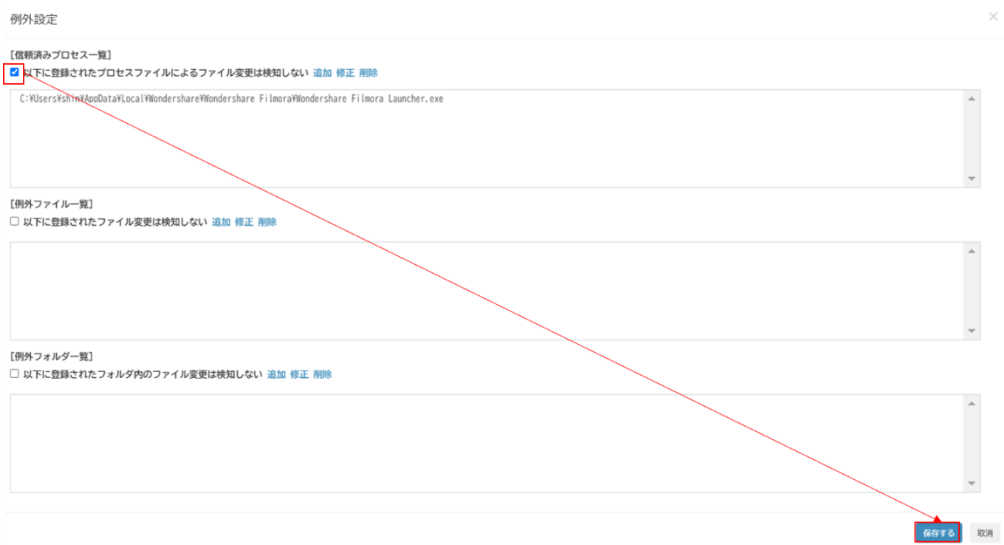
【信頼済みプロセス一覧】
 以下に登録されたプロセスファイルによるファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

【例外ファイル一覧】
 以下に登録されたファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

【例外フォルダー一覧】
 以下に登録されたフォルダ内のファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

[保存する](#) [取消](#)

(9) 「以下に登録されたプロセスファイルによるファイル変更は検知しない」にチェックを入れ、「保存する」ボタンをクリックしてください。



例外設定

【信頼済みプロセス一覧】
 以下に登録されたプロセスファイルによるファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

C:\Users\yshim\AppData\Local\Wondershare\Filmora\Wondershare Filmora\Wondershare Filmora Launcher.exe

【例外ファイル一覧】
 以下に登録されたファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

【例外フォルダー一覧】
 以下に登録されたフォルダ内のファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

[保存する](#) [取消](#)

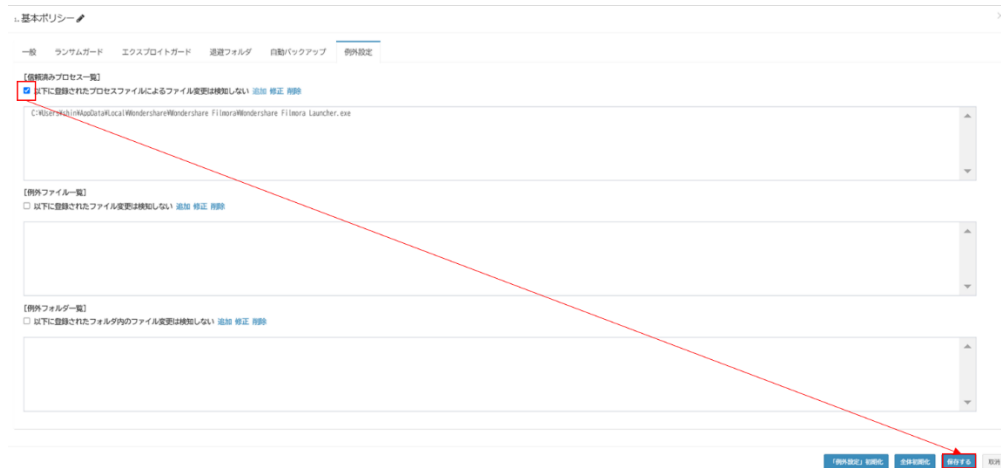
- (10) **【ポリシー単位の設定として、例外設定を一括適用する場合】** 「ポリシー管理」>「ポリシー管理」> ご利用されているポリシー(基本ポリシーなど)を選択してください。



- (11) 「例外設定」>「信頼済みプロセス一覧」>「追加」をクリックし、(3)で確認した誤検知プロセスを**ファイルのパスまで含めた形**として入力し、「OK」を押してください。



- (12) 「以下に登録されたプロセスファイルによるファイル変更は検知しない」にチェックを入れ、「保存する」ボタンをクリックしてください。



基本ポリシー

一般 ランサムガード エクスプロイトガード 遠隔フォルダ 自動バックアップ 例外設定

【信頼済みプロセス一覧】

以下に登録されたプロセスファイルによるファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

C:\Windows\WinSxS\LocalWondershare\Filera\Wondershare Filera Launcher.exe

【例外ファイル一覧】

以下に登録されたファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

【例外フォルダ一覧】

以下に登録されたフォルダ内のファイル変更は検知しない [追加](#) [修正](#) [削除](#)

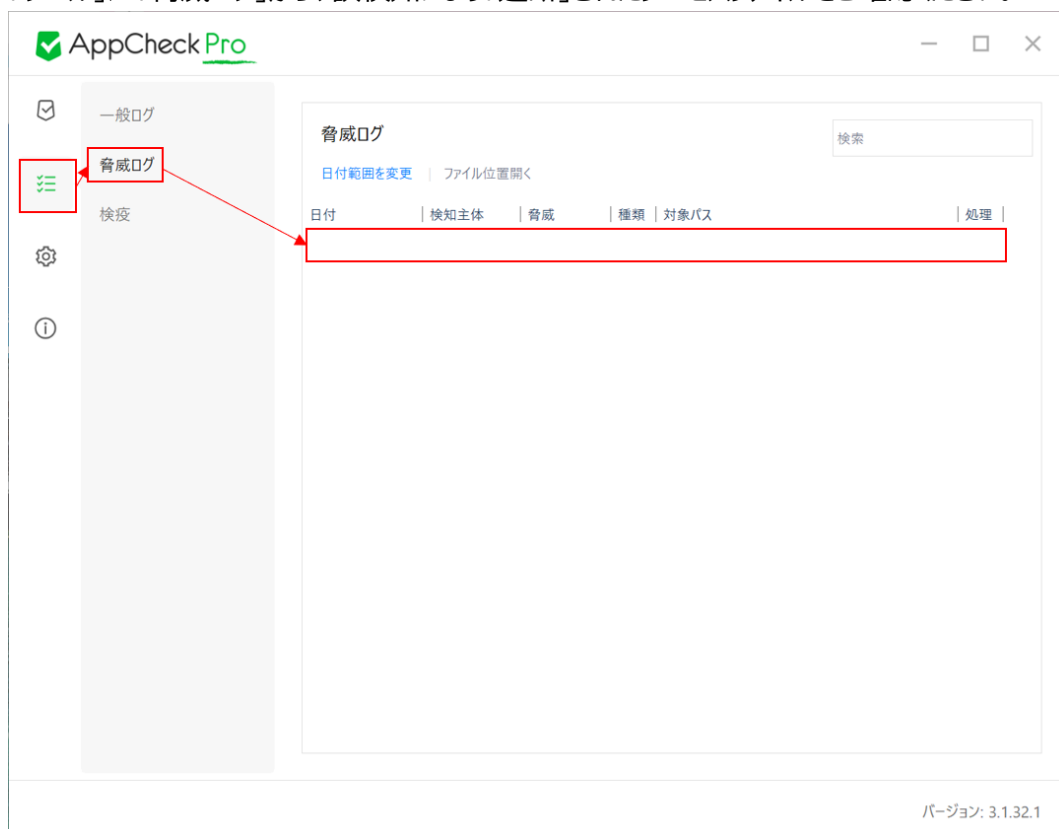
「戻る」 「OK」 「キャンセル」 **「保存する」** 「取消」

2. 【CMS無】誤検知対応方法

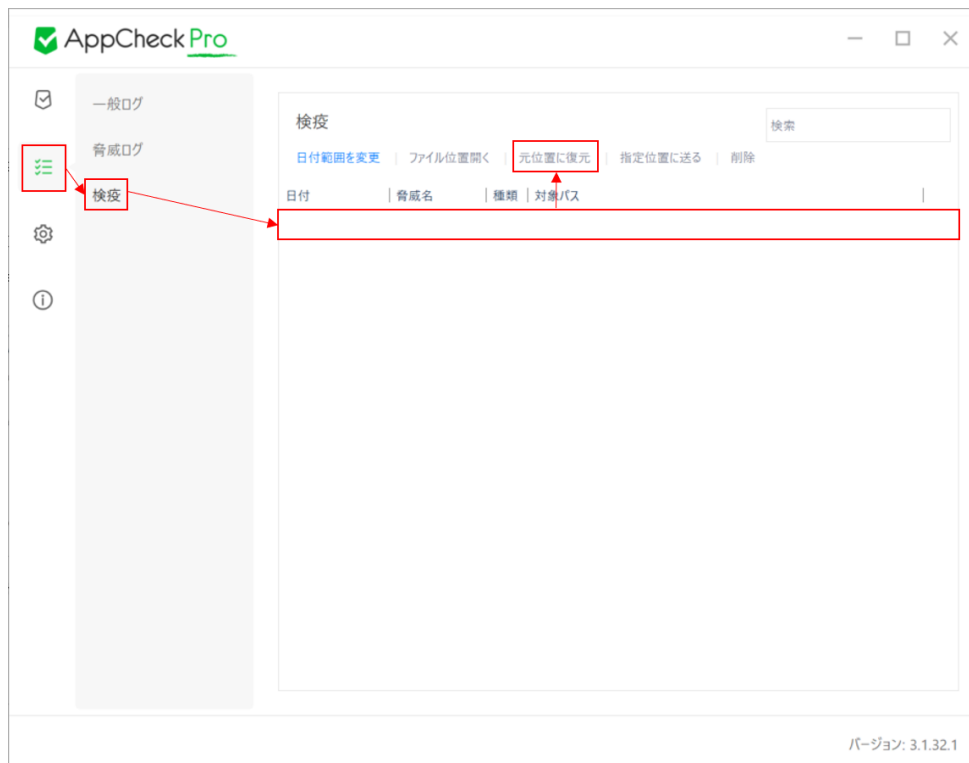
(1) Windows右下のAppCheckのアイコンをダブルクリックし、AppCheckProを開いてください。



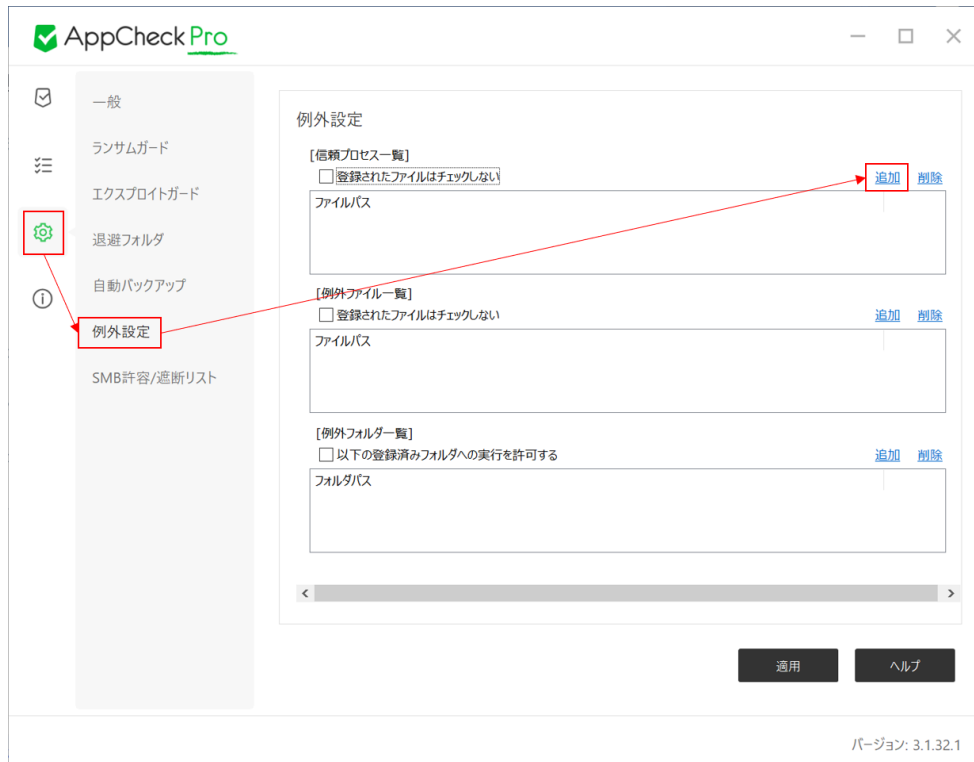
(2) 「ツール」>「脅威ログ」から、誤検知により「遮断」されたプロセスファイルをご確認ください。



- (3) 「ツール」>「検疫」から、誤検知により削除されたプロセスファイルとデータファイルを選択し、「元位置に復元」で復元してください。



- (4) 「オプション」>「例外設定」>「信頼プロセス一覧」>「追加」により、(3)で復元した誤検知プロセスファイルを選択し、追加してください。



(5) 「登録されたファイルはチェックしない」にチェックを入れ、「適用」を押してください。

